

# 令和8年度 関東高等学校体育大会バドミントン競技県予選会 兼 第72回関東高等学校バドミントン選手権大会県予選会 実施要項

**主催** 埼玉県高等学校体育連盟 埼玉県教育委員会

**主管** 埼玉県高等学校体育連盟バドミントン専門部

## 1 期 日

- (1) 開会式 令和8年4月25日(土) 9時～
- (2) 競 技 令和8年4月25日(土)～27日(月) 3日間 8時35分開場
  - 4月25日【準決勝戦まで】  
8時35分開場・競技開始9時15分(予定)
  - 4月26日【決勝戦、代表決定リーグ戦】  
8時35分開場・競技開始9時00分
  - 4月27日【代表決定リーグ戦】  
8時35分開場・競技開始9時00分
- (3) 閉会式 令和8年4月27日(月) 競技終了後

## 2 会 場

上尾運動公園体育館

## 3 競技種目

団体戦(男・女 各学校対抗)

## 4 競技規則

- (1) 令和8年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則・同大会運営規程・公認審判員規程による。
- (2) 令和8年度公益財団法人日本バドミントン協会検定・審査合格用器具および第一種検定合格水鳥球を使用する。(使用シャトルは各校持ち寄りとする。)

## 5 競技方法

- (1) 予選トーナメント戦方式、代表決定リーグ戦方式とする。  
(決勝戦進出校2校と、決勝進出校を除くベスト8校による代表決定リーグ戦の上位3校、計5校へ関東大会への出場権を与える。)
- (2) 複2組・単1名で行ない、試合順序は複1・単1・複2で実施する。なお、出場選手は単と複を兼ねることはできない。
- (3) 1対抗戦は、2マッチ先取とする。
- (4) 監督・コーチ・マネージャー・選手変更は、大会初日8:45までとし、大会本部に所定の変更届け出用紙で提出をすること、それ以後の変更はいかなる場合も認めない。

## **6 引率・監督**

- (1) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員（公立学校の場合は教員）とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）」も可とする。ただし、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届け出ること。
- (2) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

## **7 参加資格**

- (1) 埼玉県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で当該大会要項の参加資格を有する者。ただし、休学中、留学中の生徒を除く。
- (2) 監督・コーチ・マネージャー・選手は（公財）日本バドミントン協会に令和8年度会員登録完了済みのものとする。
- (3) 年齢は、平成19年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程・単位制課程の生徒による混成は認めない。ただし、全日制・定時制Ⅰ部の混成チームとして認められた競技はこの限りではない。
- (5) 再編整備対象校による合同チーム（再編整備完了前の2年間に限る）の大会参加を認める。
- (6) 転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。ただし、一家転住等やむを得ない場合は高体連会長の許可があればこの限りではない。
- (7) 参加する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する校長の承認を必要とする。
- (8) 全国高等学校総合体育大会開催基準要項の参加資格の（8）の特例により参加資格を得たものが出場できる大会は次のとおりとする。
  - ア 学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会県予選会および地区予選会
  - イ 県民総合スポーツ大会兼高等学校新人大会県大会および地区予選会
  - ウ 関東高等学校体育大会および県予選会
- (9) 関東高等学校体育大会は全国高等学校総合体育大会に準じて、全国高等学校総合体育大会の開催基準要項の参加資格の（8）の特例により参加資格を得たものが出場できる。

#### 【大会参加資格の別途に定める規程】

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
  - (1) 大会参加資格を認める条件
    - ア. (公財)全国高等学校体育連盟の目的を理解し、それを尊重すること。
    - イ. 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあつては、学齢、修学年限とも高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
    - ウ. 各学校にあつては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
    - エ. 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく、運営が適切であること。
  - (2) 大会参加に際し守るべき条件
    - ア. 全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会申し合せ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
    - イ. 大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
    - ウ. 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

## 8 参加制限

- (1) 参加できるチームは、令和7年度埼玉県新人大会ベスト4入賞校及び、各地区予選会を経て代表権を得た学校。地区出場校数は各地区8校とする。
- (2) 監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手5名以上7名以内とする。ただし、マネージャーが生徒の場合は選手を兼ねることができる。また、5名を欠いた場合はチームとして認めない。原則として同一校で男女出場する場合は、別の監督をつけること。マネージャーは当該校の教職員または生徒とする。
- (3) 外国人留学生の参加について、申し込みは2名以内とし、1対抗戦の出場は、その出場人数(1名又は2名)に関わらず、1試合とする。

## 9 参加申込

### ※ 個人情報の取扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。

- (1) 申込書類 大会参加申込書(1部)
- (2) 申込方法 所定の様式により、学校長印を押印の上、組み合わせ抽選会へ持参する。
- (3) 申込先 令和8年4月22日(水) 組み合わせ抽選会に持参すること。

## 10 表彰

- (1) 入賞校には賞状を授与する。
- (2) 優勝した団体(学校)には優勝杯を授与する。ただし、持ちまわりとする。

## 11 参加上の注意

- (1) 競技中の疾病・傷害などの応急措置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。  
なお、参加者は健康保険証等を持参すること。
- (2) 参加校の選手は必ず引率責任者によって引率され、また学校は参加選手の行動に対して責任を負うものとする。

## 12 諸会議

令和8年4月22日(水) 会場 スポーツ総合センター

- (1) 常任委員会 ミーティングルーム 9時30分～
- (2) 代表者会議・抽選会 301・302研修室 14時00分～  
組み合わせ抽選会不参加校は、該当地区常任委員の責任において行う。
- (3) 顧問総会 301・302研修室 15時00分～

## 13 試合進行等

- (1) ア 第1ゲームと2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認める。選手は競技区域を離れてはならない。また、指示・助言ができるものは2人までとする。これはエンドを代えた後に行い、主審が「20秒」をコールしたらコートから離れるものとする。  
イ 各ゲーム、どちらかが11点に達した時60秒を超えないインターバルを認める。
- (2) ア 代表決定リーグ戦において、前試合を棄権した学校は、そのリーグ戦の以後の試合をすべて棄権扱いとする。  
イ 代表決定リーグ戦の順位の決定方法は、①最終勝敗 ②得失マッチ数差 ③得失ゲーム数差 ④総得失点数差 ⑤【①～④までで2校が残った時】当該校どうしの勝敗【①～④までで3校が残った時】当該校どうしの中で①～④の順にもどる、の順で行う。
- (3) 同一校が連続して試合を行う場合には、前試合終了後15分間の間隔をおいてから次の試合を行う。
- (4) 原則として複1から順に1試合ずつ行う。ただし、試合進行が遅れている場合には、複1と単1・単1と複2を並行して行う場合もある。
- (5) 練習は、対抗戦の各試合前2分間行う。

## 14 諸連絡

- (1) 公益財団法人全国高等学校体育連盟競技者及び指導者規程を遵守すること。
- (2) 今大会での男女1～5位校は群馬県前橋市で行われる、令和8年度関東高等学校バドミントン大会兼第72回関東高等学校バドミントン選手権大会に出場できる。出場権に関する最終決定は、埼玉県高等学校体育連盟バドミントン専門部常任委員会(代表選手選考会議)を経て、専門部長が決定する。
- (3) 今大会で男女1～8位入賞校は、学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会バドミントン競技県予選会)に出場できる。
- (4) 大会期間中は大会開催・競技運営等に疑義が生じた場合に、必要な会議を開催することができる。

- (5) 競技時の服装は、相手又は観客に不快な感じを与えないようなウェア・シューズを着用すること。色付きの着衣を使用する場合及びシューズは、(公財)日本バドミントン協会の審査合格品とする。
- (6) ア 出場選手は、上衣の背中中央に必ず高等学校名及び都道府県名を日本文字で明記し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。「上段・・・学校名(やや大きく)、下段・・・都道府県名」。判別しにくいものについては、ゼッケンを使用してもらう場合がある。
- イ ゼッケンを使用する場合は、白色の布地で縦20cm、横30cmの大きさを基準とし、文字の色は黒色又は濃紺色とする。
- (7) 敗者審判制で行う。
- (8) マッチ中の水分補給は認めるが、必ず主審の許可を得ること。また、容器は倒れてもこぼれないものを使用し、主審横の指定した入れ物に入れること。フロアー内へのクーラーボックスの持ち込みは禁止とする。氷嚢はクーラーバックに入れてベンチで保管すること。
- (9) 当該校引率責任者は、開会式開始までに受付(本部席)をすること。
- (10) 当該校引率責任者は、開会式に参列すること。
- (11) 開会式に参加する選手の服装は、ユニフォーム又は競技時のものとする。